

職員募集

臨時的任用職員の登録者を募集します。任用を希望する人を申し込みにより登録し、任用の必要が生じた場合に、登録している人の中から、選考（面接など）を行い任用を決定します。

※登録することが任用決定ではありません。

【対象】65歳まで

【登録方法（登録は随時受け付け）】登録申込書（人事課、西支所、加佐分室に備え付け。市ホームページ）

登録者を募集 臨時的任用職員に登録を

ジからもダウンロード可。顔写真を添付に必要事項を記入し、郵送か持参で人事課へ。

【登録有効期間】2年

◆臨時的任用職員とは
繁忙期や緊急の場合、臨時に設置される業務などに関して6か月を超えない期間で任用。

6か月を超えない期間で1回更新することがあります。

▼詳しくは、人事課 ☎66・1006へ。



▲リフォームの進むお試し住宅

移住 移住希望者向けお試し住宅 提供に向け整備中

本市への移住を考えている人向けに、空き家を活用した「お試し住宅」の整備を進めています。市が昔ながらの空き家を借り上げ（基本10年間）、現代風にリフォームし、整備完了後、入居要件や家賃などを設定して、平成30年度から入居者の募集を開始する予定です。

▼詳しくは、企画政策課 ☎66・1042へ。



表彰

社会福祉大会

社会福祉功労者を表彰する「舞鶴市社会福祉大会」を1月27日に赤れんが2号棟で開催。長年にわたり社会福祉の増進に貢献された民生児童委員、民間社会福祉施設等職員、ボランティア団体など延べ70人、1団体に多々見市長と荻野隆三・市社会福祉協議会会長から表彰状が贈られました。また、市社会福祉協議会へ寄附された1団体には感謝状が贈られました。

社会福祉に貢献した個人・団体を表彰

その後「成年後見制度啓発講演会」では、行政書士の櫻井寛さんによる成年後見制度に関する手続きや制度利用について講演があり、

参加者からは制度についての認識を深めました。

《福祉企画課 市社会福祉協議会》

水産 舞鶴の旬の魚を子ども達に 地元のブリを給食で



市内の小・中学校給食では、旬の味を感じ、地元産の水産物や漁業に対する関心を高めてもらおうと、地元産の水産物を利用した献立を提供しています。

1月22日には志葉小学校など4校でブリの照り焼きが出され、黒板などに「きょうは地場産物の日

です」と紹介され、子ども達はおいしそくに給食を食べていました。

価格面から普段は給食で使用できない旬の舞鶴産のブリを子ども達に食べてもらえるよう、市の補助金制度を活用し、1月に市内の全小・中学校で提供されました。

《水産課》



広報通信

広報クイズにお寄せいただいたご意見を紹介

平成30年1月号の広報クイズの質問「今年の目標を教えてください」には、たくさんのご意見をいただきました。どの世代も「健康」に関する目標がたくさん寄せられました。

【今年の目標について】

◆健康

- ◆健康第一で何事にも前向きに挑戦し、いろいろ勉強もしたい。(40～60代)
- ◆家族みんなが健康で楽しくすごせるように。(30～70代)
- ◆これ以上体重を増やさない！BMIを25以下にする。(60代男性)
- ◆なるべく自動車に乗らないで歩いて散歩を兼ねて買い物をする。(60代女性)

◆趣味など

- ◆コンサートを見に行きたい。(30～40代)
- ◆このまま健康で姉と世界旅行に行くこと。(70代女性)
- ◆縄跳びの「はやぶさ」をがんばるぞ！（10代男性）
- ◆地域のイベントに参加する。(40代男性)

⇒市民の皆さんの健康への意識が高いことが分かりました。10～12月に市が実施した、身近な人とグループを組んで励まし合い、楽しみながらウォーキングに取り組む

歩王(ウオーキング)選手権は「グループで取り組むことで、長続きできた！」など参加者の声が届いています。このほか、東・文化公園体育館で開催されているさまざまなスポーツ教室を始めてみるのも良いかもしれません。

また、東舞鶴公園と文化公園には、ストレッチやバランス運動ができる健康遊具を設置しています。これから暖かくなるので、市内の公園にも出かけてみるのもおすすめです。

【移住定住の取り組みについて】

新聞で高専生が空き家をリノベーションしているのを知って、とても良いことだと思いました。斬新な考えを空き家に活用して若い世代に移住定住してもらえたらとてもうれしいです。応援しています。広報まいづるを1年分保存していて、年末にもう一度見直すことを3年間続けています。舞鶴のことをもっと知りたくなります。(40代男性)

⇒移住定住は、定住人口を増やし、舞鶴に新しい風を取りこむためにも推進していかなければいけません。若い世代や民間からの知恵も借りて、よりたくさんの方々と一緒に「住みたいまち舞鶴」になるように取り組んでいきます。4月には、移住定住促進課を新たに設置し、これまで以上に移住定住に力を入れていきます。

「広報まいづる」は市政情報が満載です。1年分を後で読み返していただくと、市の方針や目指すべき方向、事業などがよく分かります。ぜひ、皆さんもこの活用方法を実践してみてください。

《広報広聴課》

消防車両を更新配置 皆さんの安心安全のために



2月1日、赤れんが4号棟で消防ポンプ自動車の配置式を行い、余内消防団に配置しました。地域消防団の災害対応能力の強化を目的に、老朽した車両の更新を行ったもので、機動力や操作性、放水能力が向上し、さまざまな資機材を積載し災害時には多用途に活躍します。また、2月15日には赤れんが4号棟で高規格救急



自動車の配置式を実施しました。最新の救急資機材を備え、応急手当のための広い車内スペースを確保しており、さらなる救命率の向上を図るとともに、赤色灯にLEDを採用し視認性が向上。緊急走行時の安全性の向上が図られました。

《消防本部》